

株式会社オーエックスエンジニアリング

(OX ENGINEERING CO., LTD.)

デジタル経営戦略2024

私たちは「未来を開発する」ために

「創る喜び」「売る喜び」「使う喜び」が伝わる製品を提供します

もくじ

はじめに 代表取締役会長 石井 勝之 メッセージ	3
① 経営ビジョン	4
② デジタル経営の取り組み	7
③ デジタル経営戦略情熱2024	9
④ デジタル経営推進体制	12
⑤ デジタル化人材育成	14
⑥ デジタル化推進基盤	18
⑦ デジタル経営戦略成果指標	20
⑧ サイバーセキュリティ対策	22
⑨ デジタル戦略実行にあたって（取締役 業務部 部長 石井 良太より）	23

はじめに 代表取締役会長メッセージ

「お客様、パートナー企業様、そして私たちの社員がデジタル利活用で共に成長」



私たちオーエックスエンジニアリングは、「未来を開発する」という理念のもと、全ての人々が自由に動き、活動できるバリアフリー社会を目指しています。私たちの車いす開発・製造は、お客様の課題に応え、生活の質を向上させることを目的としており、最先端技術・素材を使用し、お客様一人ひとりに合った製品提供に力を注いでいます。

技術革新への不断の追求と、個々のニーズに応える製品の提供は、私たちの核となる使命です。創業者石井重行の「自分自身が乗りたい車いす」を追求する精神を継承し、私たちは常にお客様のニーズを最優先に置き、その期待を超える製品開発に励んでいます。

お客様、パートナー企業様、そして私たちの社員がデジタル利活用で共に成長し、共に未来を開発していくこと。それが私たちの願いであり、2024年8月開催の取締役会にて承認・決定した「デジタル経営戦略2024」を推進してまいります。

2024年8月

代表取締役 会長 石井 勝之

① 経営ビジョン

1. 創業者の思い＝「日本の車いすの常識を変える」



モーターサイクルのレーシング・テクノロジーが
日本の車いすの常識を変えた。

一人の男の「ものづくり」への情熱が、
MADE IN JAPANの車いすを生み出した。

「こんな車いすが欲しかった」

ユーザーの声を私たちは、今も忘れていない。

これが **OXISM** の始まり。

① 経営ビジョン

2. 経営ビジョン = 「未来を開発する」

高性能な車いす。

カッコいい車いす。

30年前、日本にそんなものは存在しなかった。

今、車いすに性能やデザインを求めないユーザーはいない。

 は「未来を開発する」こと。

経営理念

ビジョン

未来を開発する

ミッション

「創る喜び」「売る喜び」「使う喜び」
が伝わる製品の提供

① 経営ビジョン

3. 存在意義 = 脈々と受け継がれる「ものづくり」への信念と情熱

日本の車いすの常識を覆すことになる「オーエックスエンジニアリング」が進む道

① オーエックスの道

作り手が楽しくなければ、未来は生まれない。
売り手が信じなければ売れない。
使う人が喜んでくれるから、また未来をめざす。

② オーエックスは何をするのか

使う人の驚きと喜びを創るのが
オーエックスの仕事。
未来を描き、技術の力で形にする。

OXISM

③ 軽く、強く、カッコよく

軽い、強いはあたりまえ。
車いすはカッコよくなければならない。
これがオーエックスの常識。

④ 生産量よりワクワク量

たくさん作るのが
オーエックスの仕事ではない。
使う人のワクワクをもっと増やしたい。

⑤ 常識は破るためにある

時には非常識になってみる。
車いすはこういうもの。
それいったい誰が決めた？

② デジタル経営の取り組み

1. OXISMを実現する「デジタル経営戦略2024」

OXイムズを実現するデジタル経営の取り組みの姿

「創る喜び」「売る喜び」「使う喜び」が伝わる
製品の提供

(1) お客様との接点強化による「情報取得とデータ利活用」に基づく社会価値と顧客満足度の向上

(2) 購買・製造・在庫・販売の「情報連携とデータ利活用」に基づく製品価値と従業員満足度の向上

(3) 基幹系と管理系との「情報共有とデータ利活用」に基づく企業価値とステイクホルダー満足度の向上

デジタル経営戦略2024

OXISM

② デジタル経営の取り組み

2. 「デジタル経営戦略2024」が目指すもの

お客様、パートナー企業様、そして私たちの社員が共に成長できる取り組み

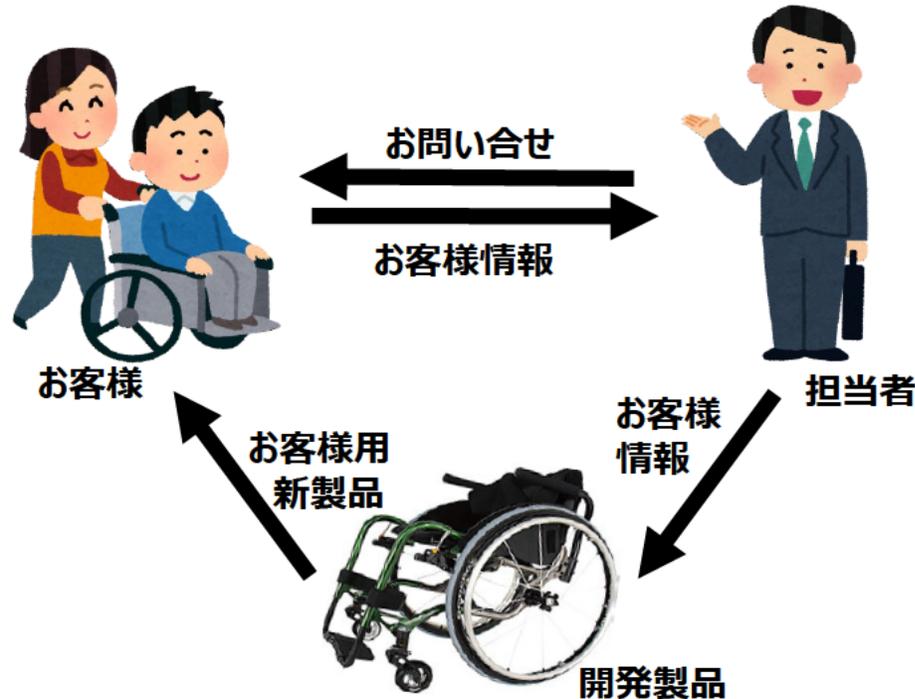


③ デジタル経営戦略2024

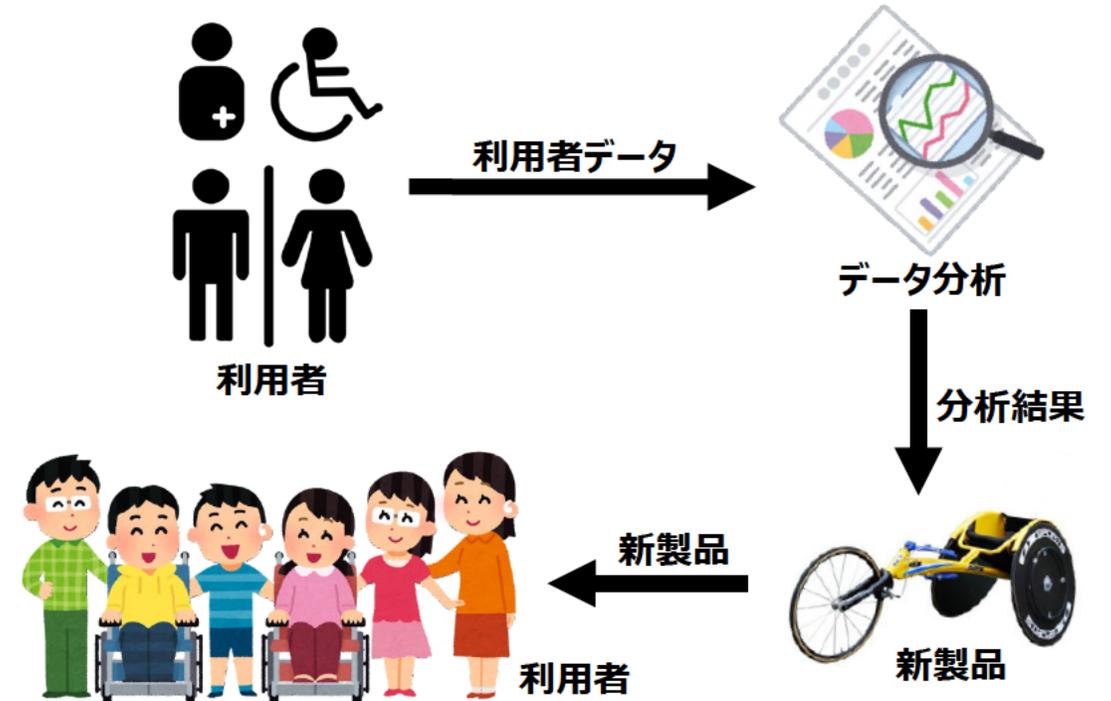
1. 顧客満足度とブランド価値の向上

お客様との接点強化による「情報取得とデータ利活用」に基づく社会価値と顧客満足度の向上

お客様との接点を強化してお客様から情報を取得し
 お客様にベストマッチした製品を創り上げることで
 お客様の満足度を高めます



お客様との接点を強化し、多くの製品データを取得し
 データ利活用による新製品の開発を通じて
 平等・健康・安全といった社会価値を高めます

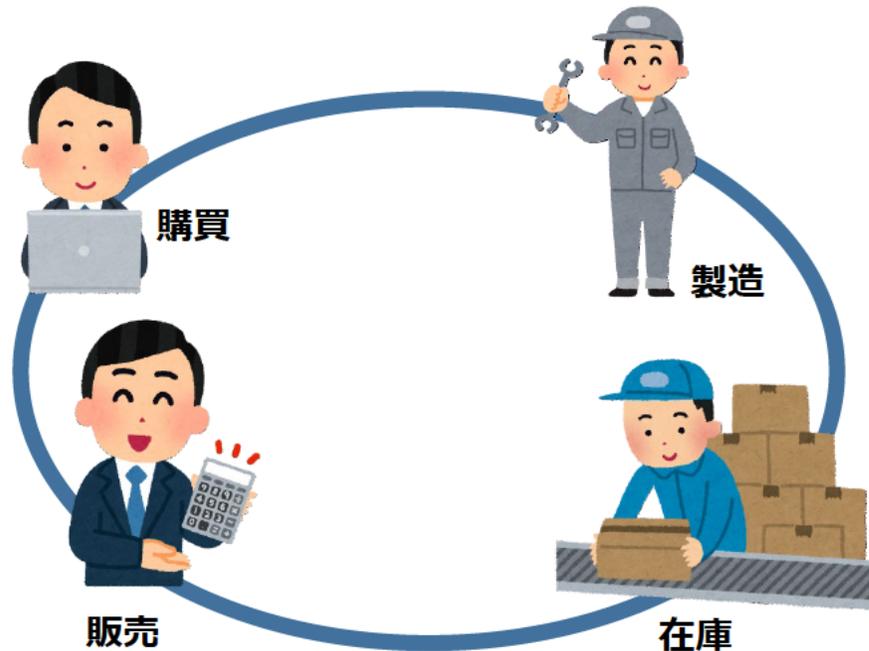


③ デジタル経営戦略2024

2. 生産性向上と従業員満足度の向上

購買・製造・在庫・販売の「情報連携とデータ利活用」に基づく製品価値と従業員満足度の向上

購買・製造・在庫・販売の各部門の情報を連携し
各部門内のスピード感ある業務遂行でムラを排除して
生産性の向上による製品価値を高めます



購買・製造・在庫・販売の各部門のデータを連携し
勤務時間内で効率的に遂行できるプロセスにより
作業軽減と価値向上で従業員満足度を高めます

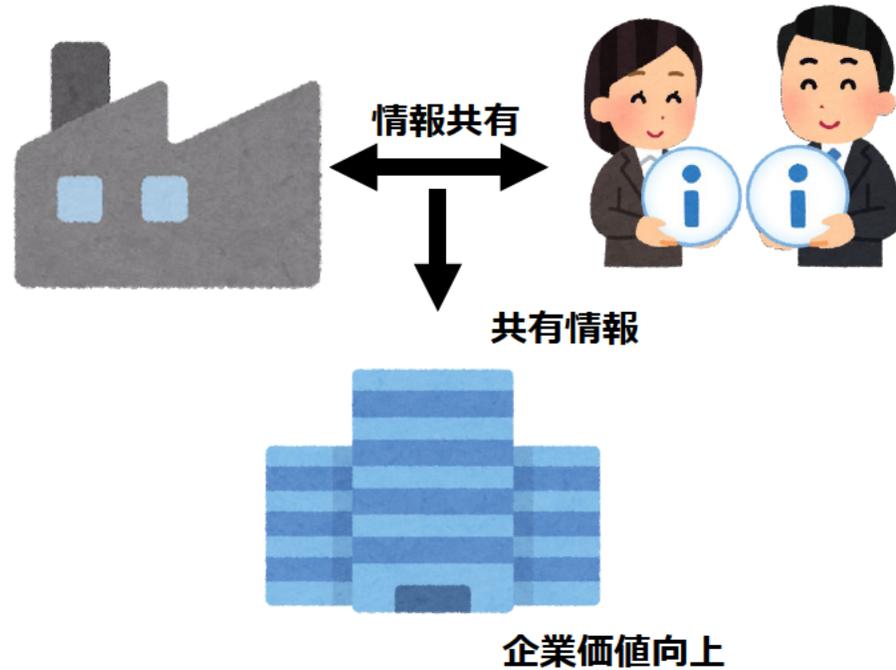


③ デジタル経営戦略2024

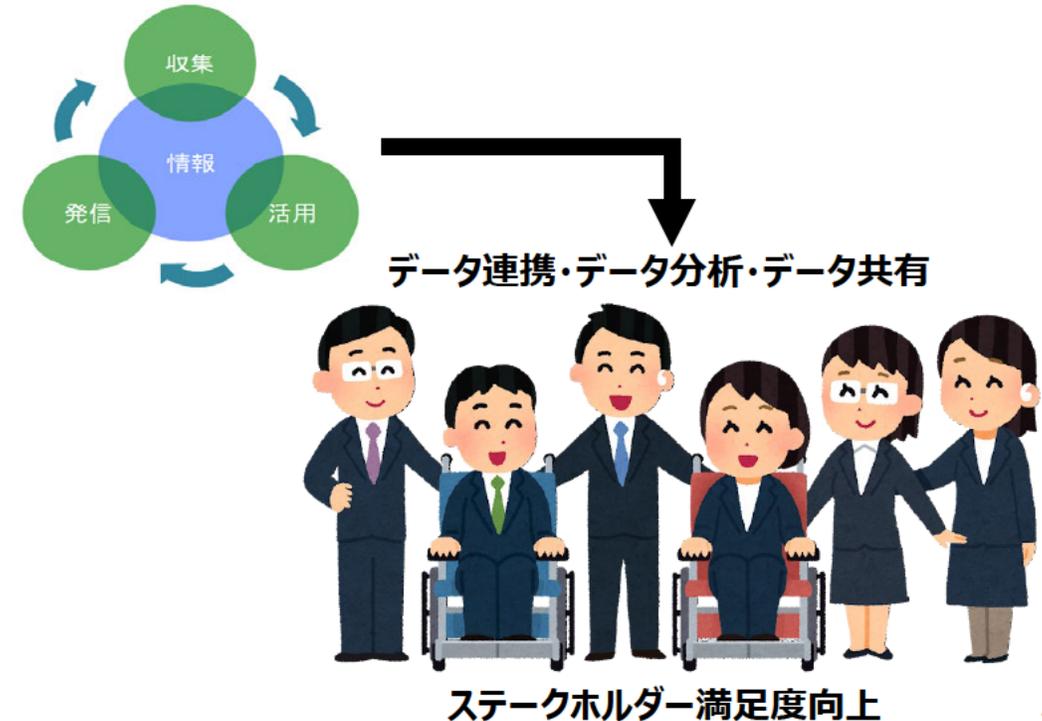
3. 企業価値とステイクホルダー満足度の向上

基幹系と管理系との「情報共有とデータ利活用」に基づく企業価値とステイクホルダー満足度の向上

基幹系と管理系の業務に関わる情報を共有し
 全社最適なプロセスを創り上げ、ムダをなくし
 企業価値そのものを高めます



基幹系と管理系の業務に関わるデータを共有し
 データ連携・データ分析・データ共有により
 あらゆるステイクホルダーの満足度を高めます



④ デジタル経営推進体制

1. 業務部と情報企画室が中心となって部門間連携

業務部と情報企画室が連携し、部門間連携を強化します。

取締役会

意思決定を行い、戦略・計画を承認
PDCAサイクルを回して業績とIT化を推進する

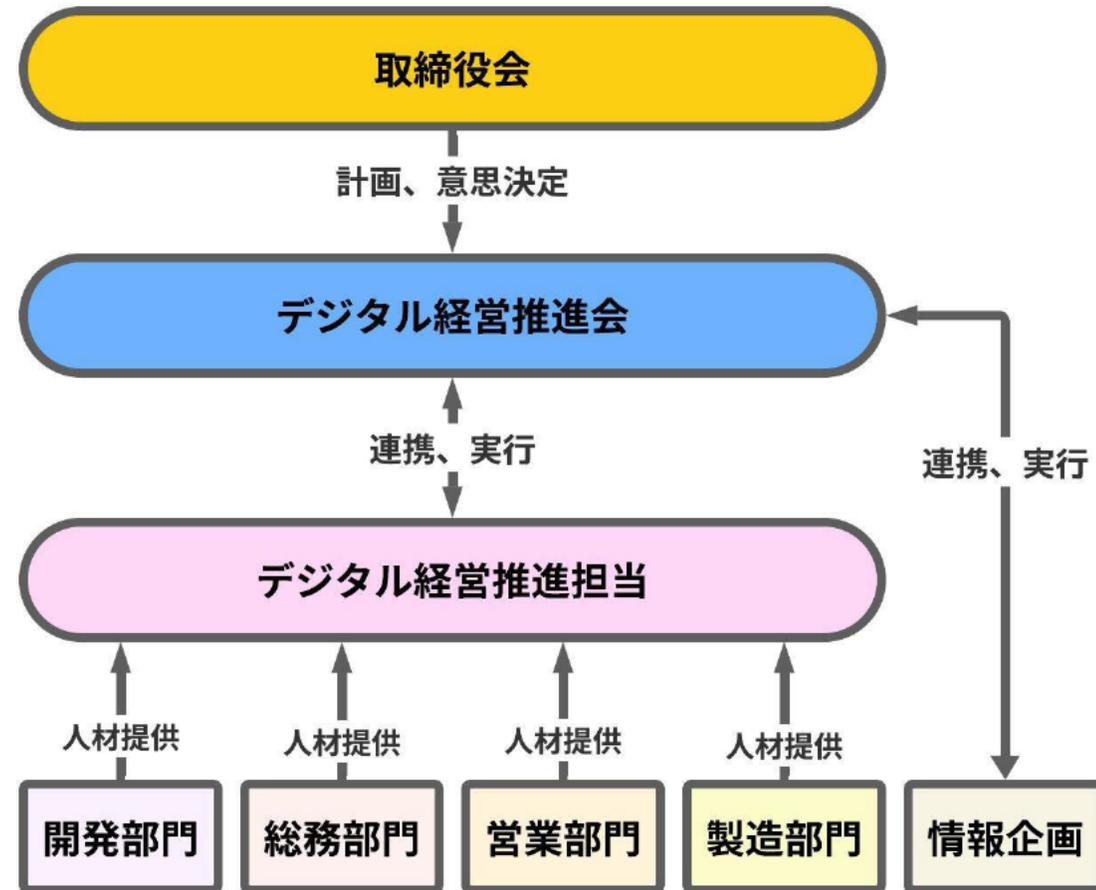
デジタル経営推進会

業務部と情報企画室が連携し
戦略・計画を立案・実行、
デジタル推進担当と連携し遂行する。

デジタル経営推進担当

各部門から人材提供し会社全体でデジタル化を推進する。

最新デジタル技術の研究



④ デジタル経営推進体制

2. プロジェクト担当部署と概要スケジュール

プロジェクトごとに担当部署(担当者)を明確にし、スケジュールに基づいて推進します。

戦略		担当部署	スケジュール			
			2024年上期	2024年下期	2025年上期	2025年下期
(1)	お客様との接点強化による「情報取得とデータ利活用」に基づく顧客満足度とブランド価値の向上	業務部 情報企画 営業部	「会員向けオーダーメイド車いす購入システム」の活用			
			導入	実行		
(2)	購買・製造・在庫・販売の「情報連携とデータ利活用」に基づく生産性向上と従業員満足度の向上	業務部 情報企画 営業部 製造部門	「多品種少量の部品を最適化する購入・生産・在庫・販売システム」の活用			
			導入	実行		
(3)	基幹系と管理系との「情報共有とデータ利活用」に基づく企業価値とステイクホルダー満足度の向上	業務部 情報企画 営業部 製造部門	「スマイルVクラウド」導入			
			検討	導入	実行	

⑤ デジタル化人材育成

1. 社員全員がデジタル化を推進するリテラシー・スキルを習得

社員全員がデジタル化を推進するリテラシー・スキルを習得し、デジタル変革を実現する。

全てのビジネスパーソン（経営層を含む）

DXを推進する初級人材（リテラシー）

<DXリテラシー標準>

全てのビジネスパーソンが身につけるべき能力・スキルを定義

1. 新たな価値を生み出すために必要なマインド・スタンス
2. Why（社会・顧客価値・競争環境の変化）
3. What（データ、デジタル技術）
4. How- 1（データ・デジタル技術の活用事例、ツール利用）
4. How- 2（セキュリティ、モラル、コンプライアンス）

DXを推進する中級人材（マネジメント）

<DXスキル標準>

中級人材（マネジメント）が身につけるべき能力・スキルを定義

データサイエンティスト/ソフトウェアエンジニア/サイバーセキュリティ

DXを推進する上級人材（ストラテジ）

<DXスキル標準>

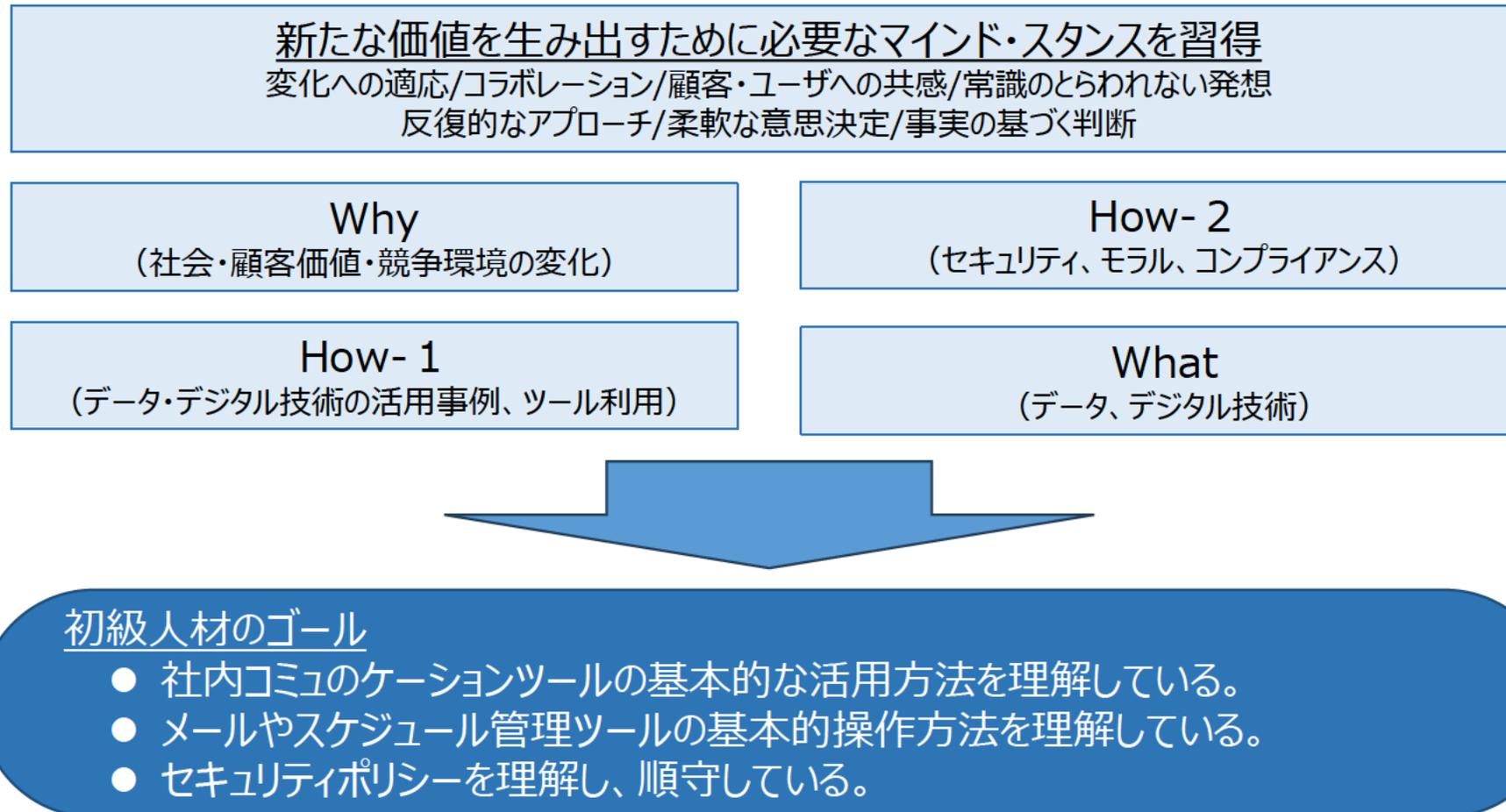
上級人材（ストラテジ）が身につけるべき能力・スキルを定義

ビジネスアーキテクト/デザイナー

⑤ デジタル化人材育成

2. 社員全員が「デジタルリテラシー」の知識とスキルを習得

社員全員がデジタルリテラシーを習得し、組織全体がデジタル変革に対応できるDX初級人材なる。



⑤ デジタル化人材育成

3. DX基盤を支え、DXを実現するDX中級人材を目指す

DXスキル標準のデータサイエンティスト、ソフトウェアエンジニア、サイバーセキュリティを習得する。

データサイエンティスト

業務変革や新規ビジネスの実現に向けて
データを収集・解析する仕組みの
設計・実装・運用を担う人材

自社や自組織の競争力向上につながる
データ活用を実現する

データ活用領域を担い、必要に応じて
他の人材類型と柔軟に連携する

ソフトウェアエンジニア

デジタル技術を活用した製品・サービスを
提供するためのシステムやソフトウェアの
設計・実装・運用を担う人材

高い技術力を通じて
自社や自組織の競争力向上に貢献する

他のステークホルダーと柔軟に連携し、
価値を生み出す

競争力のあるソフトウェアを創り出せる準の
高い技術力を維持・獲得する

サイバーセキュリティ

業務プロセスを支えるデジタル環境における
サイバーセキュリティリスクの影響を
抑制する対策を担う人材

価値提供とセキュリティ対策とのバランスを
通じて自組織の戦略遂行に貢献する

サイバーセキュリティ専門事業者も活用し
可能な範囲で担うべき業務を遂行

他の人材類型と連携して、
デジタル環境のリスクによる被害を抑制

中級人材のゴール

- チームコラボレーションツールを活用して効果的なコミュニケーションを実現できる。
- データの可視化ツールを使用してデータ分析と報告ができる。
- クラウドツールを活用してプロジェクトや日常業務を円滑遂行できる。

⑤ デジタル化人材育成

4. DX戦略を策定し、DXを推進するDX上級人材を目指す

DXスキル標準のビジネスアーキテクト、デザイナーを習得する。

ビジネスアーキテクト

DXの取組みにおいて
ビジネスや業務の変革を通じて実現したいことを設定した上で、
関係者をコーディネートし、その協働関係の構築をリードしながら、
目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を通じて、
目的を実現する人材

デジタルを活用したビジネスを設計し、
一貫した取組みの推進を通じて、
設計したビジネスの実現に責任を持つ

関係者をコーディネートし、
関係者間の協働関係の構築をリードする

デザイナー

ビジネスの視点、顧客・ユーザーの視点等を総合的にとらえ、
製品・サービスの方針や開発のプロセスを策定し、
それらに沿った製品・サービスのありかたのデザインを担う人材

顧客・ユーザー視点でのアプローチを、
取組みの関係者が常に意識できるように導く

倫理的観点を踏まえた顧客・ユーザーとの接点
(製品・サービスと顧客・ユーザーとが関わるポイント) の
デザインを行う

上級人材のゴール

- DX戦略を策定し、組織の推進リーダーシップを発揮することができる。
- ビッグデータ分析を実践し、高度なデータマネジメントを確立できる。
- 最新デジタルツールを活用し、社内の課題や解決案提案し環境構築することができる。

⑥ デジタル化推進基盤

1. 「クラウド環境」を最大限に活用した基盤構成

「クラウド環境」を最大限に活用し、データを可視化し効率的な業務プロセスを実現します。

インフラセキュリティ基盤



インフラセキュリティー基盤

クラウドセキュリティでデジタルインフラを強固に保護。多様な働き方を可能にする。

グループコミュニケーション基盤



グループコミュニケーション基盤

リアルタイム情報共有。地理的に離れたチームも効果的なコミュニケーションが可能。

経営指標ダッシュボード/BI/アナリティック



経営指標ダッシュボード/BI/アナリティックデータを可視化し、組織運営を柔軟、効率的に経営を支援。リアルタイムの経営指標モニタリングとデータに基づく意思決定を容易にします。

⑥ デジタル化推進基盤

2. インフラ整備、デジタルツールの導入スケジュール

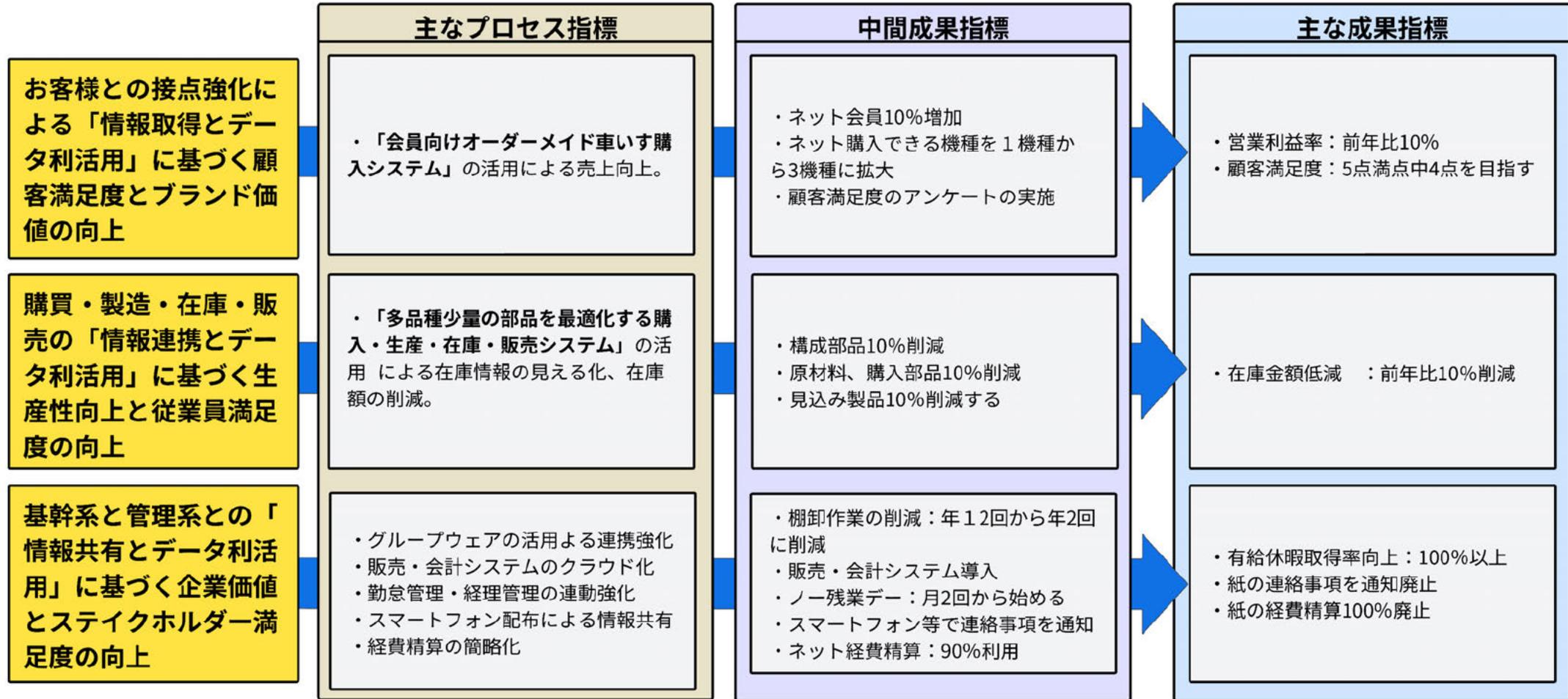
プロジェクトごとに担当部署(担当者)を明確にし、スケジュールに基づいて推進します。

戦略		担当部署	スケジュール			
			2024年上期	2024年下期	2025年上期	2025年下期
(1)	グループウェアの導入とスマートフォンによる情報共有、紙による申請のデジタル化	業務部 情報企画	構築・導入	実行		
(2)	ネットワーク回線の更新、10GB光回線への移行、UTMの設置、社内ネットワーク機器の更新	業務部 情報企画	検討	構築・導入	実行	
(3)	ファイルサーバーの更新	業務部 情報企画	検討	構築・導入	実行	

⑦ デジタル経営戦略成果指標

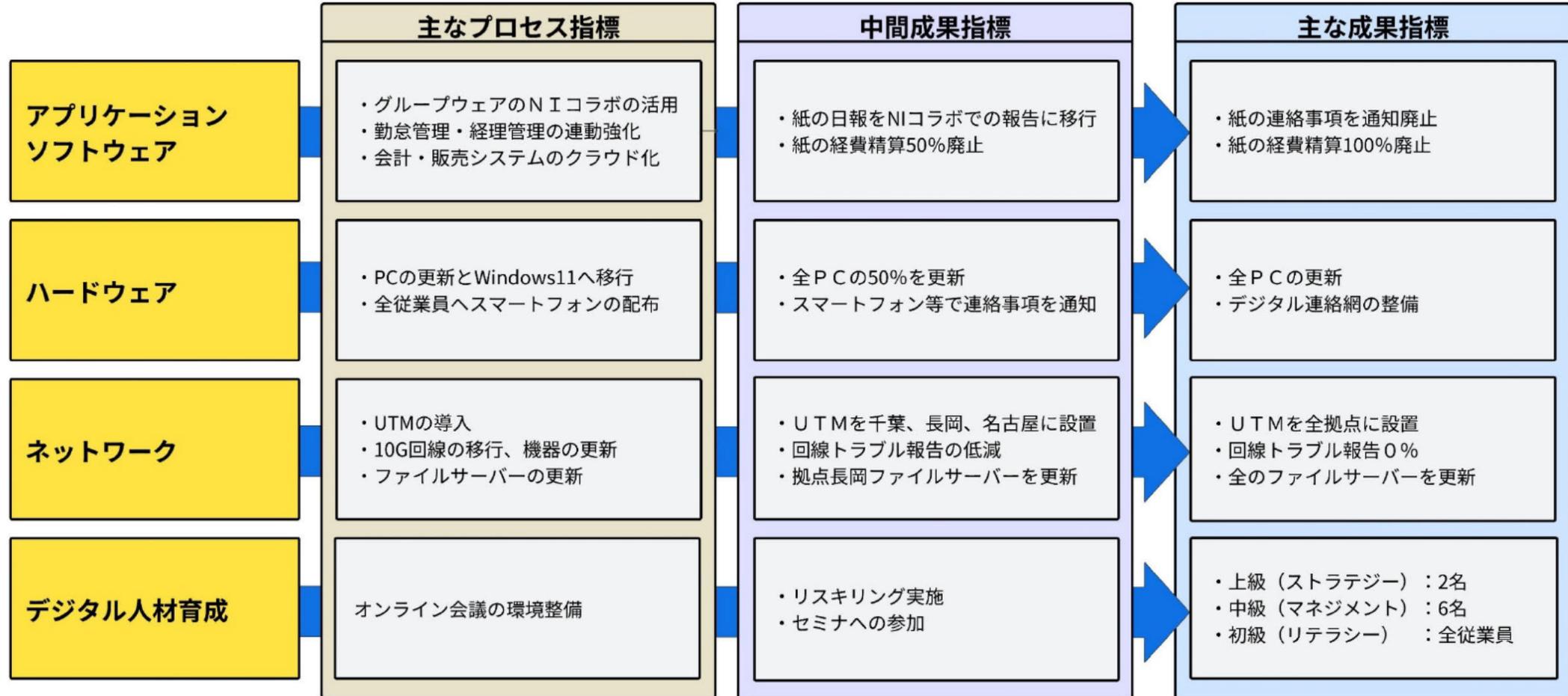
1. 「顧客価値・従業員価値・企業価値」の向上

デジタル経営戦略プロジェクトの主な業績評価指標と目標成果指標



⑦ デジタル経営戦略成果指標 「顧客価値・従業員価値・企業価値」の向上

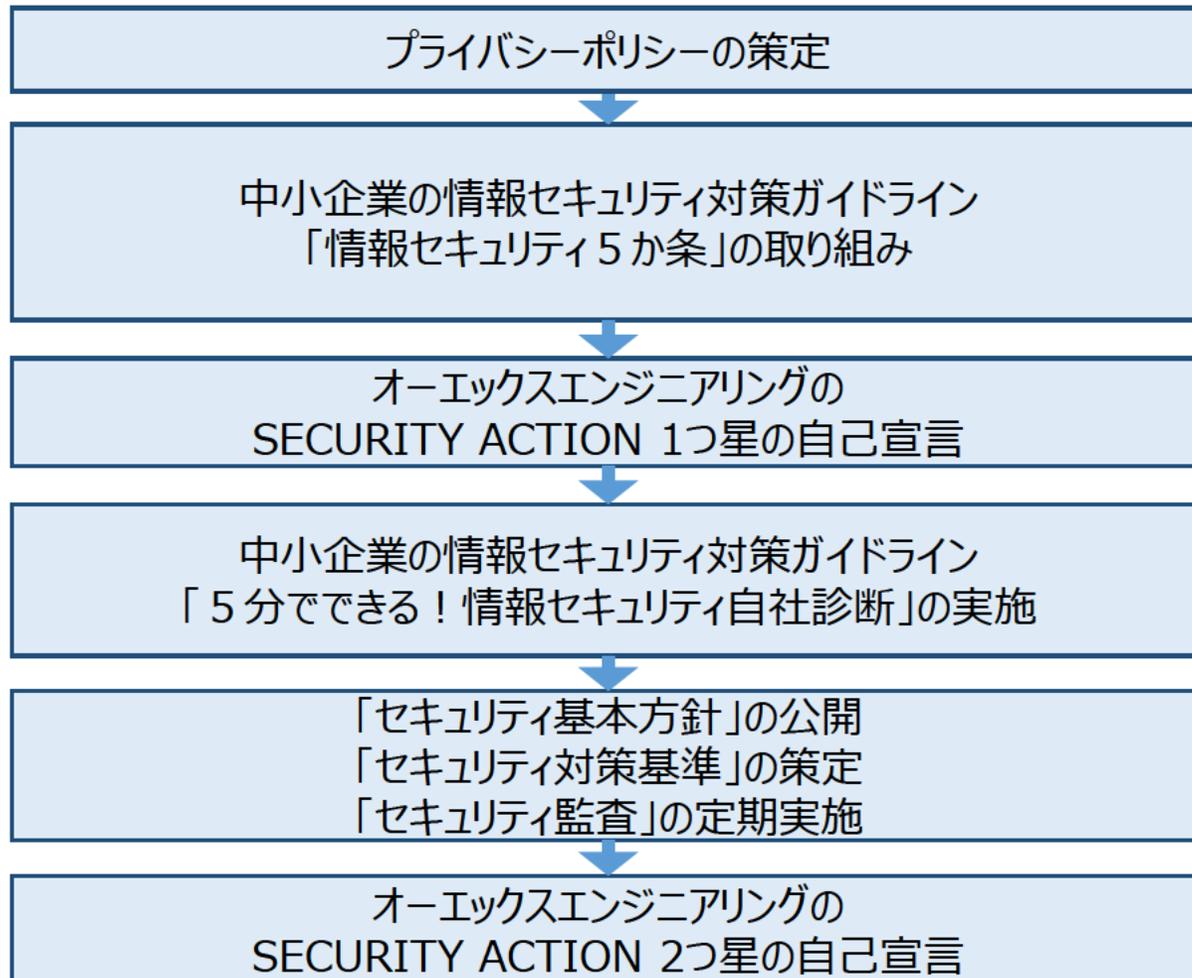
デジタル化推進プロジェクトの主な業績評価指標と目標成果指標



⑧ サイバーセキュリティ対策

「自社セキュリティポリシー策定、セキュリティアクションの宣言」

「DX」の基盤となるサイバーセキュリティ対策とセキュリティ監査の実施



プライバシーポリシーの策定

(2023年4月：改訂版公開)

- ① OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！
- ② ウイルス対策ソフトを導入しよう！
- ③ パスワードを強化しよう！
- ④ 共有設定を見直そう！
- ⑤ 脅威や攻撃の手口を知ろう！ (2022年12月：実施)

SECURITY ACTION 1つ星の自己宣言と申請

(2022年12月：実施)

- ① 基本的対策を強化
- ② 従業員としての対策を強化
- ③ 組織としての対策を強化 (2024年5月：実施)

オーエックスエンジニアリング・ホームページ

<https://www.oxgroup.co.jp/>

(2024年9月：公開)

SECURITY ACTION 2つ星の自己宣言と申請

(2024年9月：実施)

⑨ デジタル経営戦略実行にあたって 「デジタル技術と共に歩む：オーエックスグループの挑戦」

デジタル経営戦略を推進する中、オーエックスグループは積極的にデジタル技術を活用し、バリアフリー社会の実現に向けて取り組んでいます。

お客様のニーズに柔軟に応える製品開発とエクスペリエンス提供に加え、データ分析やIoT技術を駆使して柔軟で革新的な製品づくりに注力し、お客様に新しい体験を提供していきます。

私たちは「未来を開発する」という理念を胸に、DX推進指標等による自己診断を進めながら、デジタル経営を通じて効果的に社会に貢献していくことをお約束いたします。

2024年8月

取締役 石井 良太

発行日：2024年9月2日

**発行者：株式会社オーエックスエンジニアリング
(OX ENGINEERING CO., LTD.)**

代表取締役会長 石井 勝之

〒265-0043

千葉県千葉市若葉区中田町 2186-1

電話番号 043-228-0777 (代表)

協力者：船橋情報ビジネス株式会社（稲垣 実）